

IV 主要商圏の構造

IV 主要商圏の構造

1 千葉商圏（商業中心都市）

(1) 商圏の概要

表IV-1-1 千葉商圏

商圏 (基準吸引率)	旧・市町村区界				現・市町村区界					
	市町村		商圏人口 (人)	吸引人口 (人)	市町村		商圏人口 (人)	吸引人口 (人)		
		市町村 吸引率				市町村 吸引率				
第1次 (30%以上)	計	1	83.9%	930,388	780,596	計	1	83.9%	930,388	780,596
		千葉市	83.9%	930,388	780,596		千葉市	83.9%	930,388	780,596
第2次 (10~30%未満)	計	10	15.4%	510,520	78,380	計	7	15.7%	464,850	72,902
		習志野市	13.9%	158,806	22,074		習志野市	13.9%	158,806	22,074
		四街道市	21.8%	85,404	18,618		四街道市	21.8%	85,404	18,618
		旧・富山町	15.7%	5,778	907		茂原市	12.7%	93,028	11,815
		茂原市	12.7%	93,028	11,815		睦沢町	11.7%	7,695	900
		睦沢町	11.7%	7,695	900		長柄町	14.8%	8,459	1,252
		長柄町	14.8%	8,459	1,252		東金市	11.5%	61,681	7,093
		旧・岬町	13.0%	15,289	1,988		大網白里町	22.4%	49,777	11,150
		東金市	11.5%	61,681	7,093					
		旧・成東町	10.5%	24,603	2,583					
		大網白里町	22.4%	49,777	11,150					
第3次 (5~10%未満)	計	20	6.6%	884,511	58,329	計	15	6.8%	917,889	61,992
		市原市	7.4%	279,729	20,700		市原市	7.4%	279,729	20,700
		佐倉市	5.0%	171,381	8,569		佐倉市	5.0%	171,381	8,569
		八街市	6.9%	75,644	5,219		八街市	6.9%	75,644	5,219
		木更津市	5.3%	122,745	6,505		木更津市	5.3%	122,745	6,505
		袖ヶ浦市	7.2%	59,298	4,269		袖ヶ浦市	7.2%	59,298	4,269
		旧・富浦町	5.4%	5,623	304		一宮町	9.5%	11,723	1,114
		旧・白浜町	6.0%	5,770	346		長生村	9.0%	14,589	1,313
		一宮町	9.5%	11,723	1,114		白子町	9.7%	12,778	1,239
		長生村	9.0%	14,589	1,313		長南町	6.6%	9,697	640
		白子町	9.7%	12,778	1,239		勝浦市	7.3%	21,774	1,590
		長南町	6.6%	9,697	640		いすみ市	8.9%	42,033	3,741
		勝浦市	7.3%	21,774	1,590		大多喜町	7.6%	11,374	864
		旧・夷隅町	8.1%	7,759	628		御宿町	6.7%	7,915	530
		旧・大原町	6.7%	20,329	1,362		山武市	7.5%	58,527	4,390
		大多喜町	7.6%	11,374	864		九十九里町	7.0%	18,682	1,308
		御宿町	6.7%	7,915	530					
		旧・蓮沼村	5.2%	4,697	244					
		旧・松尾町	8.6%	11,018	948					
		九十九里町	7.0%	18,682	1,308					
	旧・光町	5.3%	11,986	635						
合 計	31	39.4%	2,325,419	917,305	23	39.6%	2,313,127	915,490		

注1) 吸引率=吸引人口÷商圏人口×100

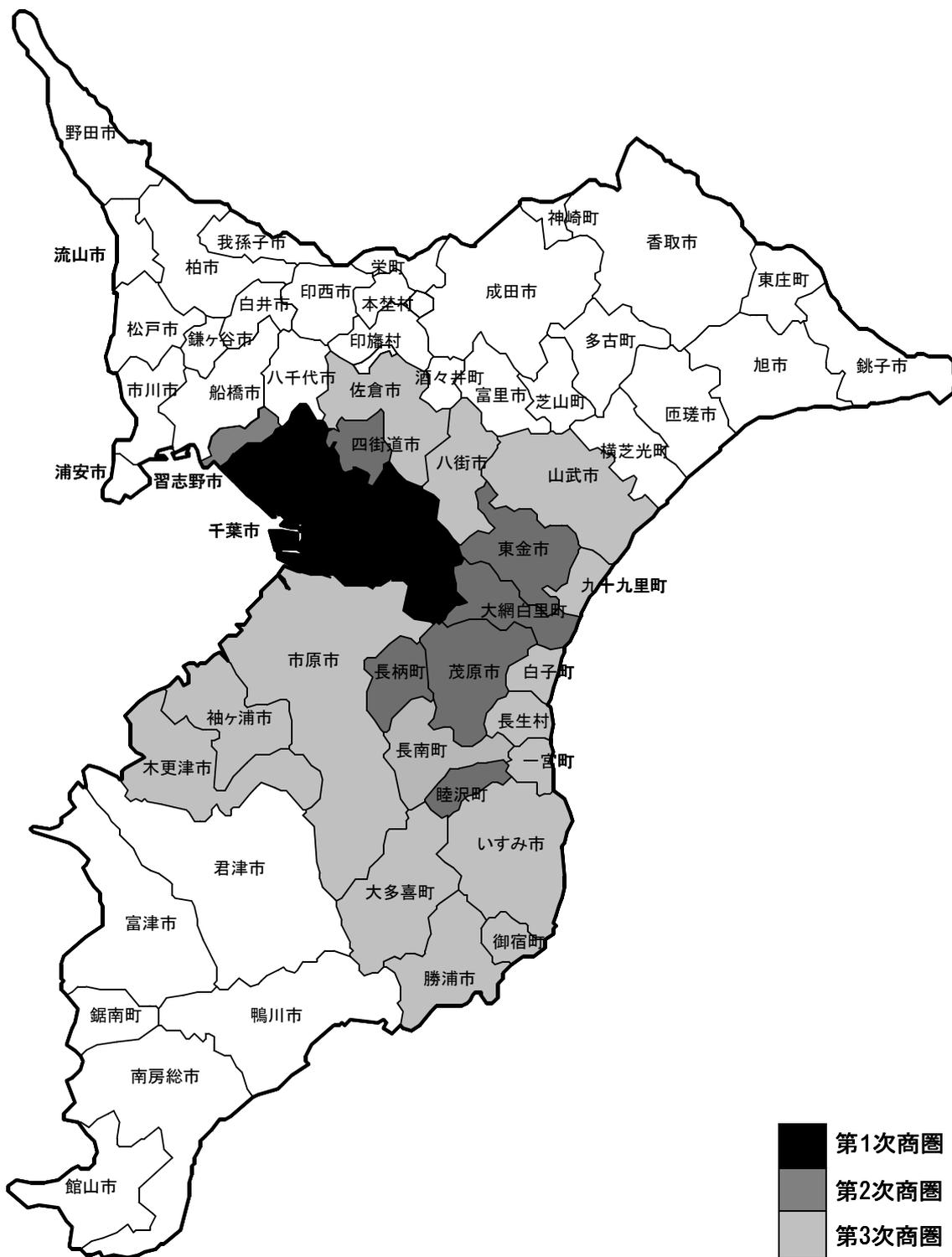
注2) 各商圏内の最上段吸引率は圏内加重平均(圏内吸引人口計÷圏内商圏人口計×100)

注3) 市町村・商圏人口は平成18年10月1日現在(千葉県毎月常住人口調査より)

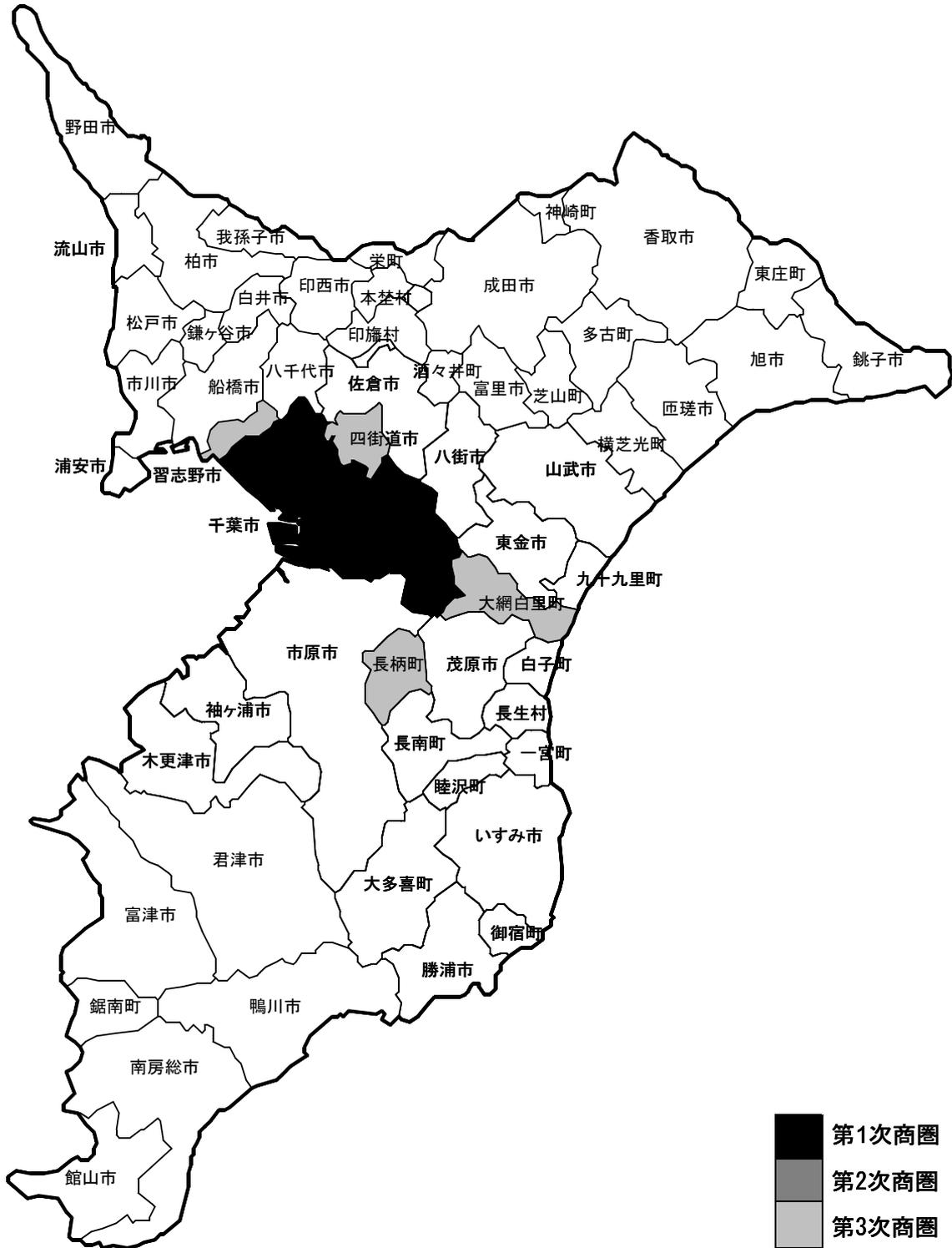
但し、旧市町村人口は平成18年10月末日現在(各市町村住民基本台帳字別人口表より)

- 千葉商圏は県の中央部分一帯を中心とした 13 市 9 町 1 村から形成され、商圏人口は約 231 万人（千葉市人口の約 2.5 倍）で県人口の約 38%にあたり、商圏からの吸引人口は約 92 万人（同約 98%）、商圏内吸引率は 39.6%となっている。
- 第 1 次商圏は千葉市のみで吸引率（地元購買率）は 83.9%、第 2 次商圏は 4 市 3 町で吸引率の平均は 15.7%、第 3 次商圏は 8 市 6 町 1 村で吸引率の平均は 6.8%となっている。

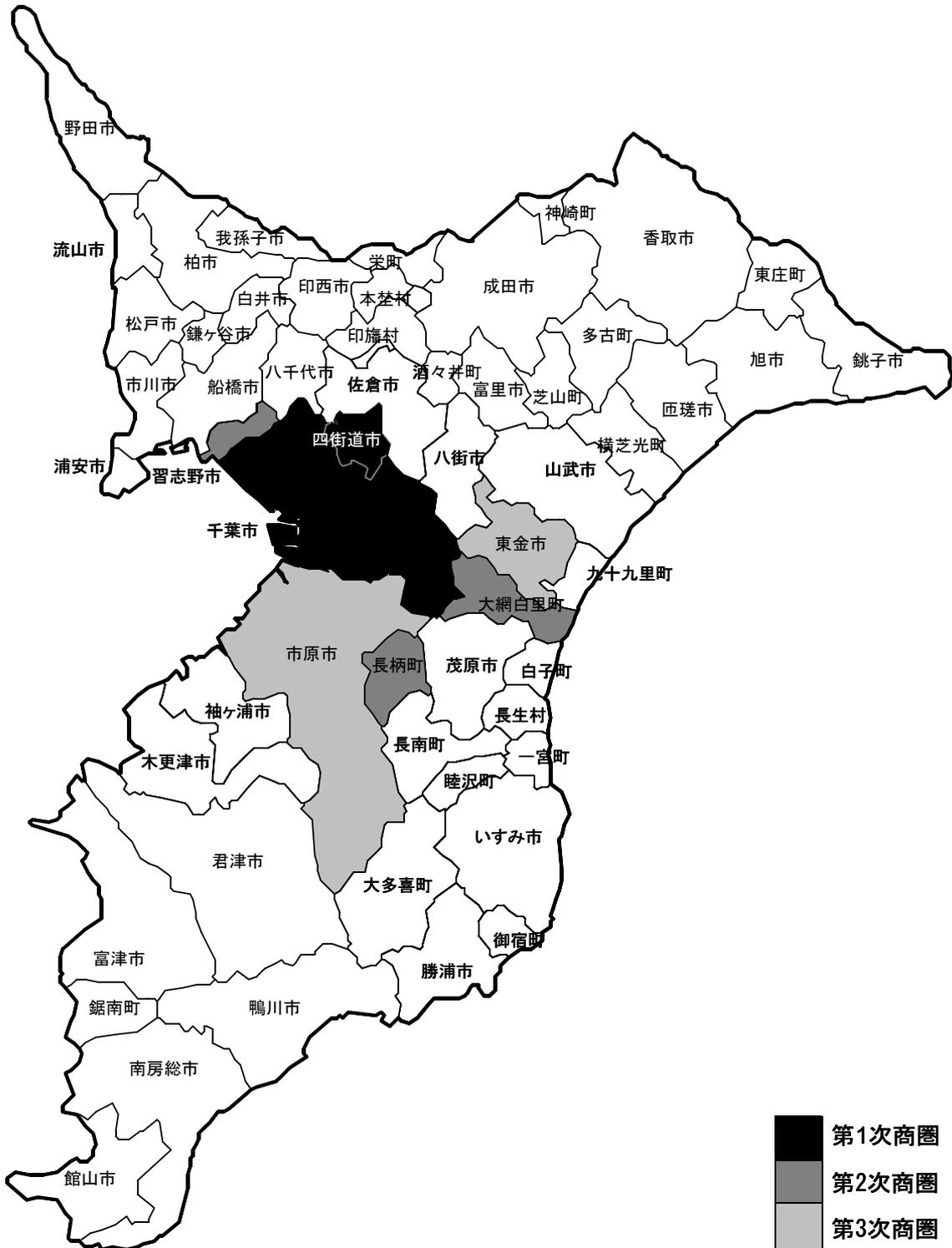
図IV-1-1 千葉商圏（衣料品）



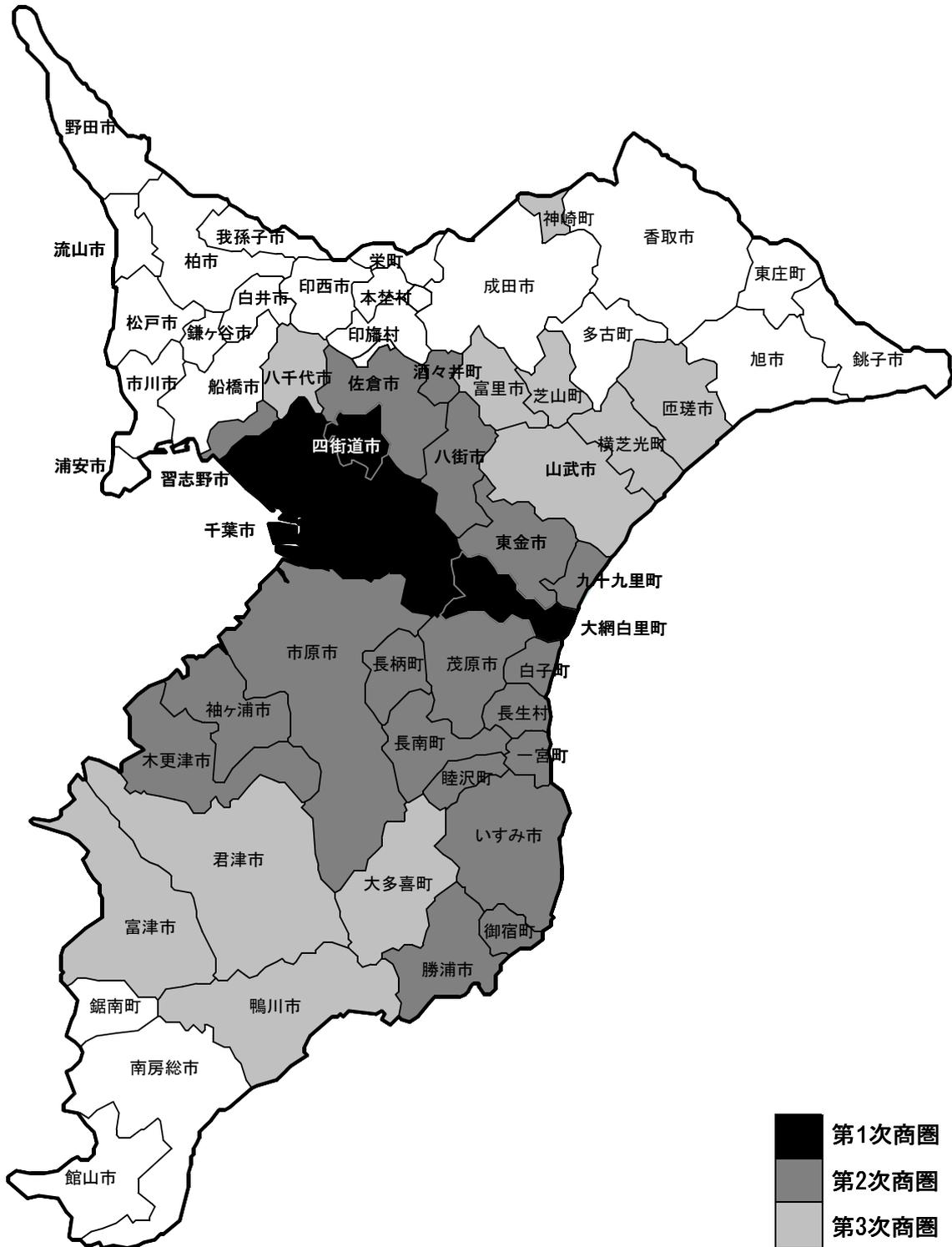
図IV-1-2 千葉商圏（食料品）



図IV-1-3 千葉商圏（飲食）



図IV-1-4 千葉商圏（贈答品）



(2) 旧市町村区界での前回調査との比較

○商圏内市町村数

- ・第1次商圏は千葉市1市のみで変わらない。
- ・第2次商圏は5市5町であったうち、2市1町が第3次商圏に移動し、1町が圏外に出たものの、第3次商圏から1市2町が入り、また、1町が新規に入ったことから、数に変化はないが4市6町となった。
- ・第3次商圏は4市10町2村であったうち、1市2町が第2次商圏へ移動し、1市1町が圏外に出たものの、2市1町が第2次商圏から入り、2市4町が新たに入ったことから、4増して6市12町2村となった。
- ・商圏全体では、前回調査では27市町村（10市15町2村）であったものが、4増して31市町村（11市18町2村）となった。

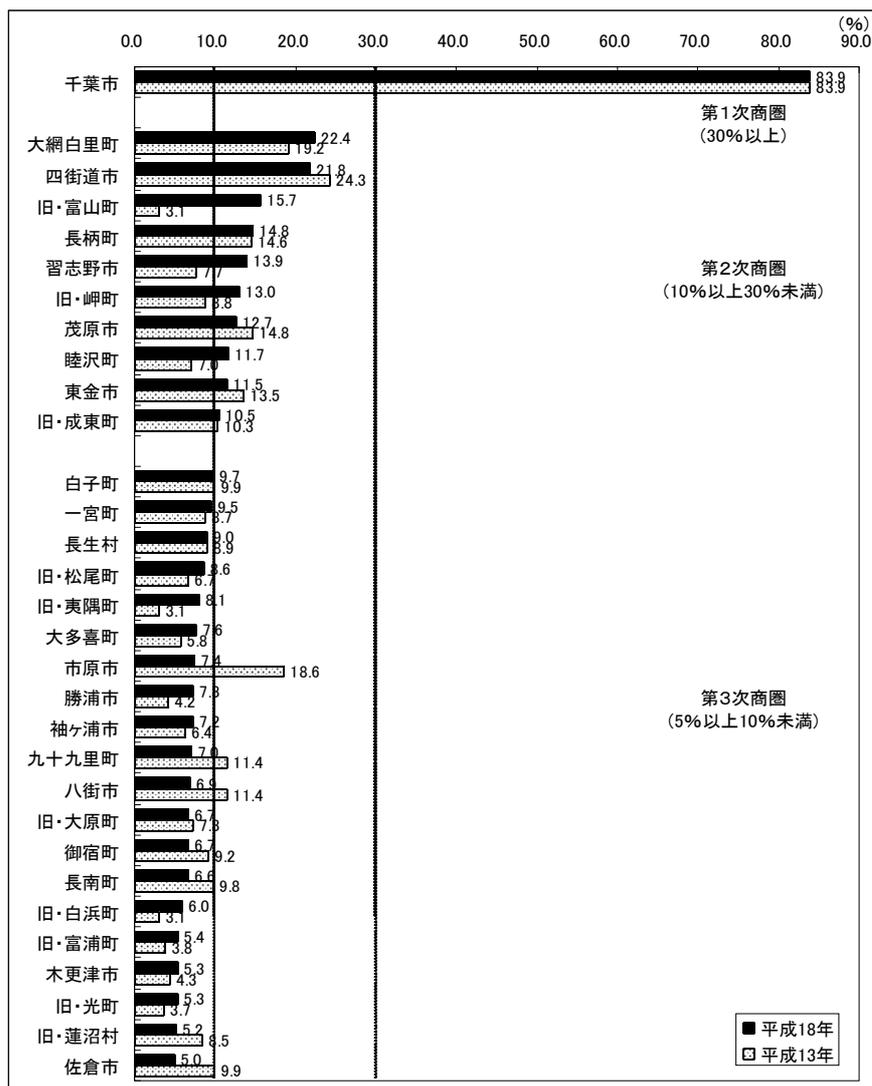
○商圏人口：前回調査時（2,172,861人）から増加して2,325,419人となった。（前回比＋7.0%）

○商圏内吸引率：前回調査時（42.2%）から低下して39.4%となった。（前回比▲3ポイント）

○吸引人口：商圏人口は増加したものの、吸引率がやや低下したので、前回調査時（917,099）から微増で917,305人になった。（前回比＋0.02%）

○吸引力：吸引人口が変わらない中で、自市の人口が増加（＋1%）したことから、吸引力は前回調査時（102.4%）から低下して98.6%となった。（前回比▲4ポイント）

図IV-1-5 千葉市の吸引状況の変化（旧市町村区界）



(3) 市町村合併による市町村区界変化に伴う変化

○商圏内市町村数

- ・第1次商圏は千葉市のみで変化はない。
- ・第2次商圏は、旧市町村区界では4市6町であるが、1町が合併後（合併新市が）圏外に出て、2町が（合併新市として）第3次商圏に移動したことから、3減して4市3町となった。
- ・第3次商圏は、旧市町村区界では6市12町2村であるが、4町村が合併により2市となり、3町が合併後（合併新市が）圏外に出たことから、5減して8市6町1村となった。
- ・商圏全体では、旧市町村区界では31市町村（11市18町2村）であるが、新市町村区界では8減して23市町村（13市9町1村）となった。前回調査時の27市町村（10市15町2村）との比較では4減となった。

↓



(現市町村区界での商圏の前回調査との比較)

- 商圏人口：現市町村区界での商圏人口は前回調査時（2,172,861 人）から増加して 2,313,127 人となった。（前回比+ 6.5%）
- 商圏内吸引率：前回（42.2%）から低下して 39.6%となった。（前回比▲ 3 ポイント）
- 吸引人口：前回（917,099 人）から減少して 915,490 人となった。（前回比▲ 0.2%）
- 吸引力：前回（102.4%）から低下して 98.4%となった。（前回比▲ 4 ポイント）

(4)衣料品購入における商圏内市町村の具体的な変化

○衣料品購入における千葉商圏内の市町村の具体的な変化を表Ⅳ－１－２に示す。

表Ⅳ－１－２ 千葉商圏の市町村の変化（衣料品）

衣料品 商圏 (基準吸引率)	平成13年 市町村		平成18年(旧・市町村区界) 市町村			平成18年(現・市町村区界) 市町村		
		平成18年 での変化		平成13年 からの 変化	市区界変化 による商圏 からの移動		平成13年 からの 変化	
第1次 (30%以上)	計	1	計	1		計	1	
		千葉市		千葉市			千葉市	
第2次 (10～30%未満)	計	10	計	10		計	7	
	※	市原市 第3次へ	※	習志野市 第3次から		※	習志野市 第3次から	
		四街道市		四街道市			四街道市	
	※	八街市 第3次へ	※	旧・富山町 新規	×(南房総市)	※	睦沢町 第3次から	
		茂原市		茂原市			茂原市	
		長柄町		睦沢町 第3次から			長柄町	
		東金市		長柄町			東金市	
		大網白里町		※	旧・岬町 第3次から	△(いすみ市)	大網白里町	
	※	九十九里町 第3次へ		東金市				
		旧・成東町		※	旧・成東町	△(山武市)		
	※	旧・山武町 圏外へ		大網白里町				
第3次 (5～10%未満)	計	16	計	20		計	15	
	※	習志野市 第2次へ	※	市原市 第2次から		※	市原市 第2次から	
		佐倉市		佐倉市			佐倉市	
	※	酒々井町 圏外へ	※	八街市 第2次から		※	八街市 第2次から	
		袖ヶ浦市	※	木更津市 新規		※	木更津市 新規	
		一宮町		袖ヶ浦市			袖ヶ浦市	
	※	睦沢町 第2次へ	※	旧・富浦町 新規	×(南房総市)		一宮町	
		長生村	※	旧・白浜町 新規	×(南房総市)		長生村	
		白子町		一宮町			白子町	
		長南町		長生村			長南町	
		大多喜町		白子町			※	勝浦市 新規
		御宿町		長南町			※	いすみ市 ☆
		旧・大原町		※	勝浦市 新規			大多喜町
	※	旧・岬町 第2次へ	※	旧・夷隅町 新規	○(いすみ市)		※	御宿町
		松尾町		旧・大原町	○(いすみ市)		※	山武市 ☆
		蓮沼村		大多喜町			※	九十九里町 第2次から
	※	八日市場市 圏外へ		御宿町				
				旧・蓮沼村	○(山武市)			
				旧・松尾町	○(山武市)			
				※	九十九里町 第2次から			
				※	旧・光町 新規	×(横芝光町)		
合計		27		31			23	

※印は変化(商圏内の階級移動、圏外流出、新規商圏)のあった市町村

○印は市町村合併後も新市が同一階級もしくは上位階級の商圏内 △印は市町村合併後も新市が商圏内も商圏階級が低下

×印は市町村合併後は新市が商圏外 ☆印は市町村合併市

(5) その他の品目（食料品・飲食・贈答品）における商圏内市町村の具体的な変化

○その他の品目の購入における千葉商圏内の市町村の具体的な変化を表Ⅳ－１－３に示す。

表Ⅳ－１－３ 千葉商圏の市町村の変化（食料品・飲食・贈答品）

商圏 (基準吸引率)	平成13年 市町村		平成18年(現・市町村区界) 市町村	
		平成18年 での変化		平成13年 からの変化
食料品	第1次 (30%以上)	計 1 千葉市	計 1 千葉市	
	第2次 (10~30%未満)	計 0	計 0	
	第3次 (5~10%未満)	計 3 習志野市 四街道市 長柄町	計 4 習志野市 四街道市 長柄町	※ 大網白里町 新規
	合計	4	5	
飲食	第1次 (30%以上)	計 1 千葉市	計 2 千葉市 ※ 四街道市 第2次から	
	第2次 (10~30%未満)	計 4 習志野市 ※ 市原市 第3次へ ※ 四街道市 第1次へ 大網白里町	計 3 習志野市 ※ 長柄町 第3次から 大網白里町	
	第3次 (5~10%未満)	計 2 ※ 八街市 圏外へ ※ 長柄町 第2次へ	計 2 ※ 市原市 第2次から ※ 東金市 新規	
	合計	7	7	
贈答品	第1次 (30%以上)	計 4 千葉市 ※ 市原市 第2次へ 四街道市 大網白里町	計 3 千葉市 四街道市 大網白里町	
	第2次 (10~30%未満)	計 19 佐倉市 八街市 酒々井町 袖ヶ浦市 茂原市 一宮町 白子町 長柄町 長南町 勝浦市 御宿町 旧・大原町 ○(いすみ市) 旧・岬町 ○(いすみ市) 東金市 九十九里町 ※ 旧・成東町 △(山武市) ※ 旧・山武市 △(山武市) ※ 旧・横芝町 △(横芝光町) ※ 旧・蓮沼村 △(山武市)	計 19 ※ 習志野市 第3次から 市原市 佐倉市 八街市 酒々井町 ※ 木更津市 第3次から 袖ヶ浦市 茂原市 一宮町 ※ 睦沢町 第3次から ※ 長生村 第3次から 白子町 長柄町 長南町 勝浦市 いすみ市 ☆ 御宿町 東金市 九十九里町	
	第3次 (5~10%未満)	計 14 ※ 習志野市 第2次へ 八千代市 富里町 ※ 木更津市 第2次へ 君津市 旧・鴨川市 ○(鴨川市) ※ 睦沢町 第2次へ ※ 長生村 第2次へ 大多喜町 旧・夷隅町 ○(いすみ市) 旧・松尾町 ○(山武市) 旧・八日市場市 ○(匝瑳市) 旧・光町 ○(横芝光町) 旧・野栄町 ○(匝瑳市)	計 11 八千代市 富里市 君津市 富津市 鴨川市 ☆ 大多喜町 山武市 ☆ 横芝光町 ☆ ※ 芝山町 新規 匝瑳市 ☆ ※ 神崎町 新規	
	合計	37	33	

※印は変化(商圏内の階級移動、圏外流出、新規商圏)のあった市町村

○印は市町村合併後も新市が同一階級もしくは上位階級の商圏内

△印は市町村合併後も新市が商圏内も商圏階級が低下

×印は市町村合併後は新市が商圏外 ☆印は市町村合併市

2 成田商圏（商業中心都市）

(1) 商圏の概要

表IV-2-1 成田商圏

商圏 (基準吸引率)	旧・市町村区界				現・市町村区界					
	市町村	市町村 吸引率	商圏人口 (人)	吸引人口 (人)	市町村	市町村 吸引率	商圏人口 (人)	吸引人口 (人)		
									計	市町村
第1次 (30%以上)	計	10	71.4%	263,179	187,987	計	8	69.9%	264,073	184,525
	旧・成田市		93.0%	101,686	94,568	成田市		87.6%	122,776	107,552
	旧・下総町		90.9%	7,796	7,087	富里市		53.7%	51,338	27,569
	旧・大栄町		76.0%	12,400	9,424	酒々井町		55.8%	21,361	11,919
	富里市		53.7%	51,338	27,569	印旛村		33.7%	12,823	4,321
	酒々井町		55.8%	21,361	11,919	栄町		70.3%	23,949	16,836
	印旛村		33.2%	12,823	4,257	芝山町		55.7%	8,323	4,636
	栄町		70.3%	23,949	16,836	神崎町		38.4%	6,734	2,586
	芝山町		55.7%	8,323	4,636	多古町		54.3%	16,769	9,106
	神崎町		38.4%	6,734	2,586					
	多古町		54.3%	16,769	9,106					
第2次 (10～30%未満)	計	16	14.9%	537,355	80,119	計	9	14.8%	557,961	82,340
	佐倉市		10.3%	171,381	17,652	佐倉市		10.8%	171,381	18,509
	八街市		24.5%	75,644	18,533	八街市		24.5%	75,644	18,533
	本埜村		12.4%	8,632	1,070	本埜村		12.4%	8,632	1,070
	旧・山武町		13.7%	19,603	2,686	山武市		12.2%	58,527	7,140
	旧・蓮沼村		14.0%	4,697	658	横芝光町		21.4%	25,728	5,506
	旧・松尾町		16.6%	11,018	1,829	銚子市		10.5%	73,864	7,756
	旧・横芝町		23.9%	14,550	3,477	匝瑳市		14.3%	41,790	5,976
	旧・光町		17.3%	11,986	2,074	香取市		18.6%	86,449	16,080
	銚子市		10.3%	73,864	7,608	東庄町		11.1%	15,946	1,770
	旧・八日市場市		15.4%	31,962	4,922					
	旧・野栄町		11.7%	9,804	1,147					
	旧・佐原市		22.6%	46,772	10,570					
	旧・山田町		15.4%	11,038	1,700					
	旧・栗源町		25.9%	5,160	1,336					
	旧・小見川町		12.2%	25,298	3,086					
東庄町		11.1%	15,946	1,770						
第3次 (5～10%未満)	計	4	7.7%	70,292	5,384	計	1	7.8%	70,453	5,495
	旧・旭市		7.7%	40,403	3,111	旭市		7.8%	70,453	5,495
	旧・海上町		9.3%	11,128	1,035					
	旧・飯岡町		6.6%	10,855	716					
	旧・干潟町		6.6%	7,906	522					
合計	30	31.4%	870,826	273,490		18	30.5%	892,487	272,359	

注1) 吸引率=吸引人口÷商圏人口×100

注2) 各商圏内の最上段吸引率は圏内加重平均(圏内吸引人口計÷圏内商圏人口計×100)

注3) 市町村・商圏人口は平成18年10月1日現在(千葉県毎月常住人口調査より)

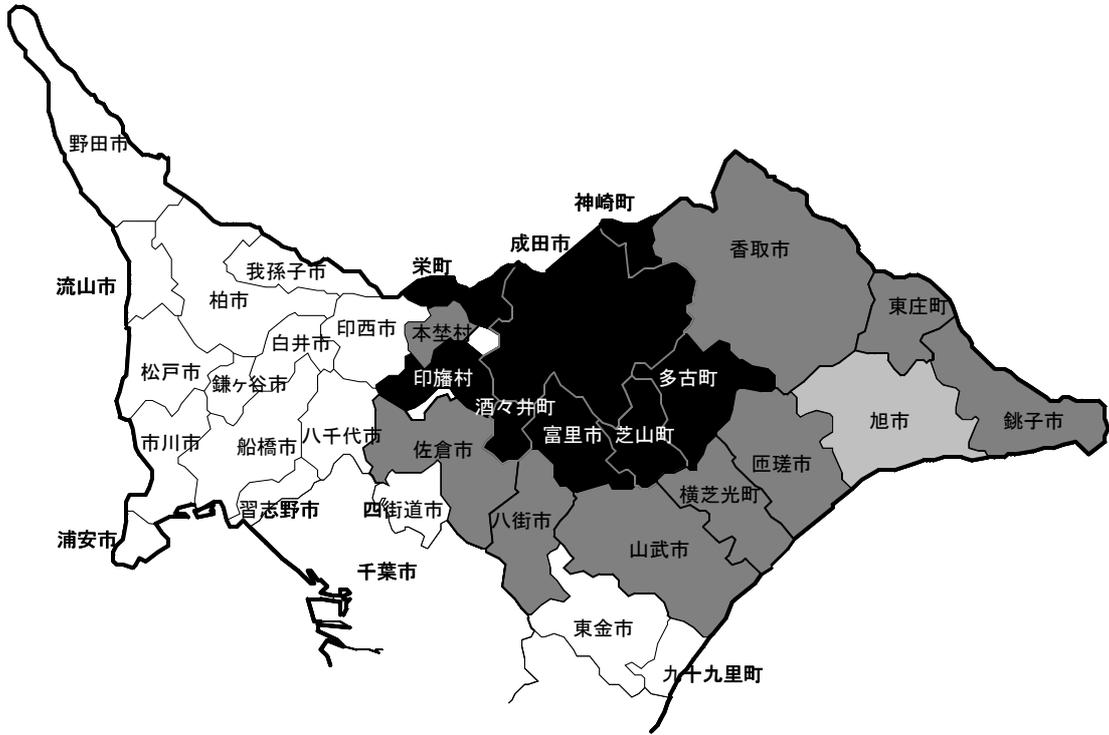
但し、旧市町村人口は平成18年10月末日現在(各市町村住民基本台帳字別人口表より)

○成田商圏は印旛ブロックを中心に、香取ブロック及び山武ブロックの北部を含めた9市7町2村から形成され、商圏人口は約89万人(成田市人口の約7.3倍)、商圏からの吸引人口は約27万人(同約2.2倍)、商圏内吸引率は30.5%となっている。

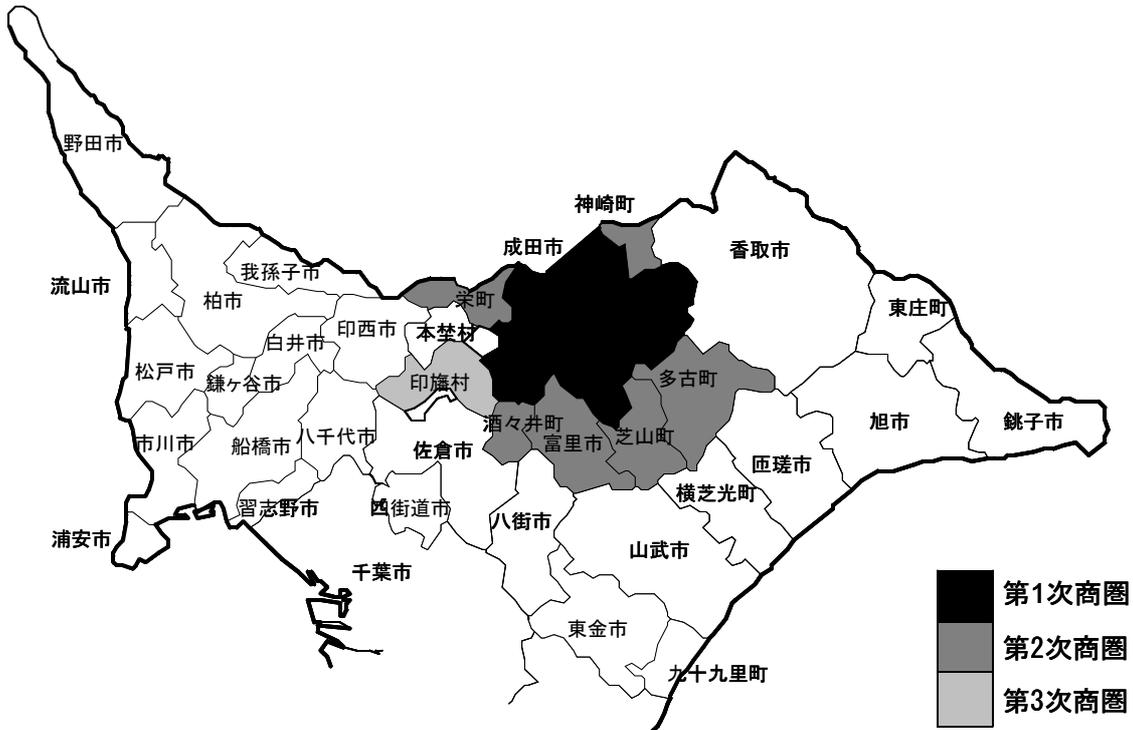
○第1次商圏は2市5町1村で吸引率の平均は69.9%、第2次商圏は6市2町1村で吸引率の平均は14.8%、第3次商圏は1市で吸引率は7.8%となっている。

図IV-2-1 成田商圏（衣料品・食料品）

（衣料品）

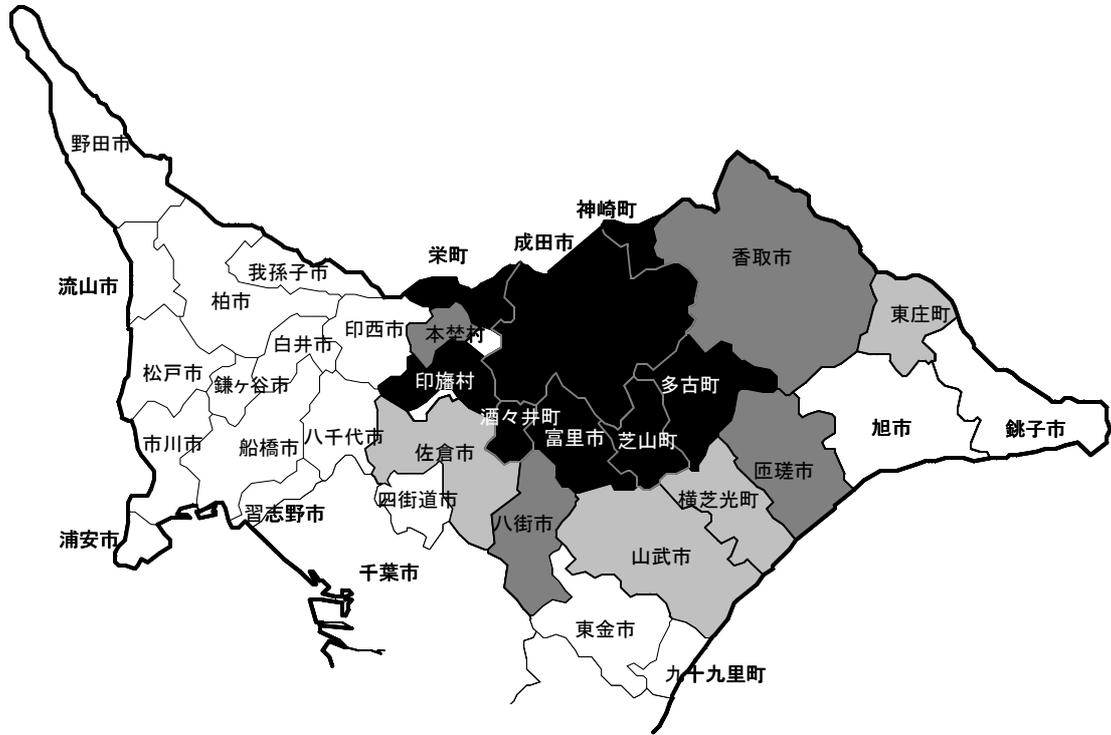


（食料品）

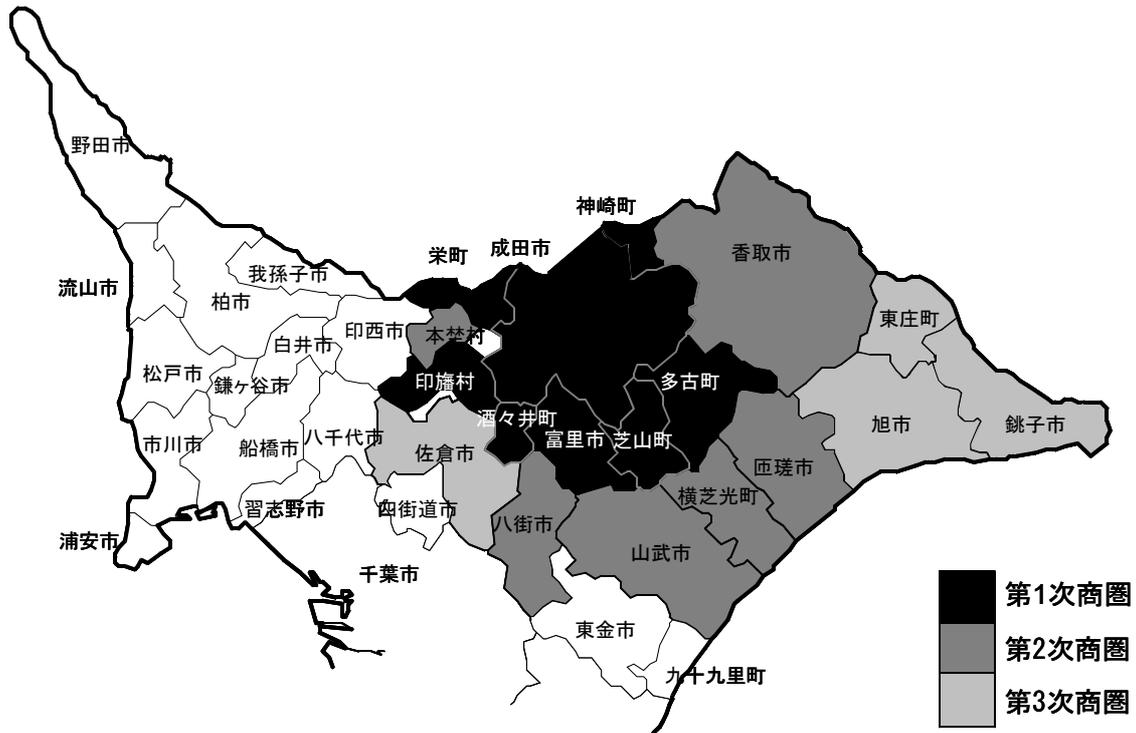


図IV-2-2 成田商圏（飲食・贈答品）

(飲食)



(贈答品)



(2)旧市町村区界（旧・成田市）での前回調査との比較

○商圏内市町村数

- ・第1次商圏は、1市7町2村であったうち、1村が第2次商圏に移動したものの、1町が第2次商圏から入り、また1町は市制を施行したので、数に変化はないが2市7町1村となった。
- ・第2次商圏は、3市6町であったうち、1町が第1次商圏に移動し1市が圏外に出たものの、第1次商圏から1村が、第3次商圏から2市2町1村が入り、また、新たに1市2町が入ったことから、7増して5市9町2村となった。
- ・第3次商圏は、2市3町1村であったうち、2市2町1村が第2次商圏へ移動したが、新たに1市2町が入ったことから、2減して1市3町となった。
- ・商圏全体では、25市町村（6市16町3村）であったものが、5増して30市町村（8市19町3村）となった。

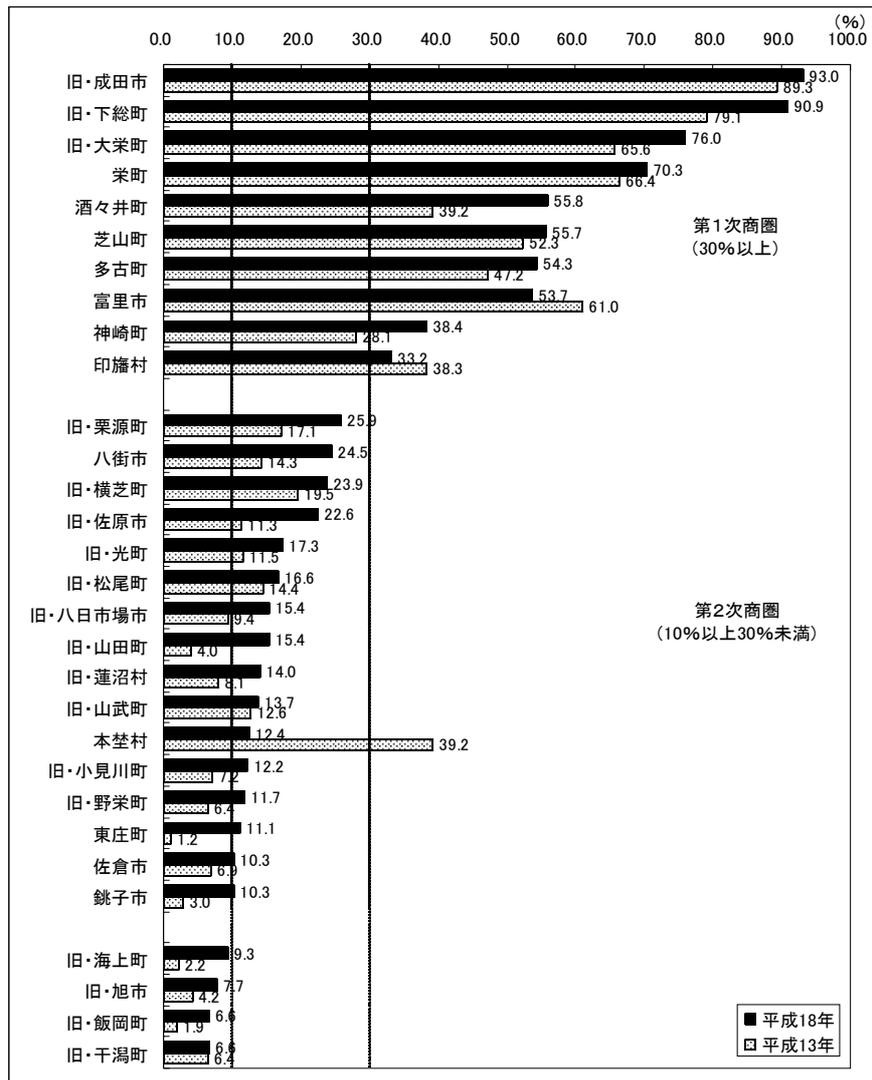
○商圏人口：前回調査時（765,049人）から増加して870,826人となった。（前回比＋13.8%）

○商圏内吸引率：前回調査時（30.5%）から上昇して31.4%となった。（前回比＋1ポイント）

○吸引人口：商圏人口・吸引率がともに増加したことから、前回調査時（233,364人）から増加して273,490人となった。（前回比＋17.2%）

○吸引力：吸引人口が増加したことから、前回調査時（242.7%）から上昇して269.0%となった。（前回比＋26ポイント）

図IV-2-3 旧・成田市の吸引状況の変化（旧市町村区界）



(3) 市町村合併による市町村区界変化に伴う変化

○商圏内市町村数

- ・第1次商圏は、旧市町村区界では2市7町1村であるが、1市（成田市）2町が合併して1市となったため、2減して2市5町1村となった。
- ・第2次商圏は、旧市町村区界では5市9町2村であるが、2市8町1村が合併により3市1町になったため、7減して6市2町1村となった。
- ・第3次商圏は、旧市町村区界では1市3町であるが、その全てが1市になったため、3減して1市となった。
- ・商圏全体では、旧市町村区界では30市町村（8市19町3村）であるが、新市町村区界では12減して18市町村（9市7町2村）となった。前回調査時の25市町村（6市16町3村）との比較では7減となった。

↓

↓

(現市町村区界での商圏の前回調査との比較)

- 商圏人口：現市町村区界での商圏人口は前回調査時（765,049人）から増加して892,487人となった。（前回比+16.7%）
- 商圏内吸引率：前回（30.5%）と変わらず30.5%となった。
- 吸引人口：前回（233,364人）から増えて272,359人となった。（前回比+16.7%）
- 吸引力：吸引人口は増加したものの、自市人口が合併により増加（+27.7%）したため、前回（242.7%）から低下して221.8%となった。（前回比▲21ポイント）

(4) 衣料品購入における商圏内市町村の具体的な変化

○衣料品購入における成田商圏内の市町村の具体的な変化を表Ⅳ-1-2に示す。

表Ⅳ-2-2 成田商圏の市町村の変化（衣料品）

衣料品 商圏 (基準吸引率)	平成13年(旧・成田市)		平成18年(旧・市町村区界)			平成18年(現・市町村区界)	
	市町村	平成18年 での変化	市町村	平成13年 からの 変化	市区界変化 による商圏 からの移動	市町村	平成13年 からの 変化
第1次 (30%以上)	計 10		計 10			計 8	
	旧・成田市		旧・成田市			成田市	☆
	酒々井町		旧・下総町		○(成田市)	富里市	
	富里町		旧・大栄町		○(成田市)	酒々井町	
	印旛村		富里市			印旛村	
	※ 本埜村	第2次へ	酒々井町			栄町	
	栄町		印旛村			芝山町	
	芝山町		栄町			神崎町	
	旧・下総町		※ 神崎町	第2次から		多古町	
	旧・大栄町		多古町				
	多古町						
第2次 (10～30%未満)	計 9		計 16			計 9	
	八街市		※ 佐倉市	第3次から		佐倉市	第3次から
	※ 印西市	圏外へ	八街市			八街市	
	旧・山武町		※ 本埜村	第1次から		本埜村	第1次から
	旧・松尾町		旧・山武町		○(山武市)	山武市	☆
	旧・横芝町		※ 旧・蓮沼村	第3次から	○(山武市)	横芝光町	☆
	旧・光町		旧・松尾町		○(山武市)	銚子市	新規
	旧・佐原市		旧・横芝町		○(横芝光町)	匝瑳市	☆
	※ 神崎町	第1次へ	旧・光町		○(横芝光町)	香取市	☆
	旧・栗源町		※ 銚子市	新規		東庄町	新規
			旧・八日市場市	第3次から	○(匝瑳市)		
			旧・野栄町	第3次から	○(匝瑳市)		
			旧・佐原市		○(香取市)		
			旧・山田町	新規	○(香取市)		
			旧・栗源町		○(香取市)		
			※ 旧・小見川町	第3次から	○(香取市)		
			東庄町	新規			
第3次 (5～10%未満)	計 6		計 4			計 1	
	※ 佐倉市	第2次へ	※ 旧・旭市	新規	○(旭市)	旭市	☆
	※ 旧・蓮沼村	第2次へ	※ 旧・海上町	新規	○(旭市)		
	※ 旧・八日市場市	第2次へ	※ 旧・飯岡町	新規	○(旭市)		
	※ 旧・野栄町	第2次へ	旧・干潟町		○(旭市)		
	※ 旧・小見川町	第2次へ					
	旧・干潟町						
合計	25		30			18	

※印は変化(商圏内の階級移動、圏外流出、新規商圏)のあった市町村

○印は市町村合併後も新市が同一階級もしくは上位階級の商圏内 △印は市町村合併後も新市が商圏内も商圏階級が低下

×印は市町村合併後は新市が商圏外 ☆印は市町村合併市

(5) その他の品目（食料品・飲食・贈答品）における商圏内市町村の具体的な変化

○その他の品目の購入における成田商圏内の市町村の具体的な変化を表Ⅳ－１－３に示す。

表Ⅳ－２－３ 成田商圏の市町村の変化（食料品・飲食・贈答品）

商圏 (基準吸引率)	平成13年(旧・成田市) 市町村		平成18年(現・市町村区界) 市町村	
	平成18年 での変化		平成13年 からの変化	
食料品	第1次 (30%以上)	計 3 旧・成田市 ○(成田市) 旧・下総町 ○(成田市) 旧・大栄町 ○(成田市)	計 1 成田市 ☆	
	第2次 (10~30%未満)	計 6 酒々井町 富里町 ※ 印旛村 第3次へ 栄町 芝山町 神崎町	計 6 富里市 酒々井町 栄町 芝山町 神崎町 ※ 多古町 第3次から	
	第3次 (5~10%未満)	計 2 ※ 旧・栗源町 ×(香取市) ※ 多古町 第2次へ	計 1 ※ 印旛村 第2次から	
	合計	11	8	
飲食	第1次 (30%以上)	計 11 旧・成田市 ○(成田市) 酒々井町 富里町 印旛村 本埜村 第2次へ 栄町 芝山町 旧・下総町 ○(成田市) 神崎町 旧・大栄町 ○(成田市) 多古町	計 8 成田市 ☆ 富里市 酒々井町 印旛村 栄町 芝山町 神崎町 多古町	
	第2次 (10~30%未満)	計 5 八街市 ※ 印西市 圏外へ ※ 旧・横芝町 △(横芝光町) 旧・佐原市 ○(香取市) 旧・栗源町 ○(香取市)	計 4 八街市 本埜村 第3次から ※ 匝瑳市 新規 香取市 ☆	
	第3次 (5~10%未満)	計 7 佐倉市 旧・山武町 ○(山武市) 旧・松尾町 ○(山武市) 旧・蓮沼村 ○(山武市) 旧・光町 ○(横芝光町) ※ 旧・小見川町 ○(香取市) ※ 旧・千潟町 ×(旭市)	計 4 佐倉市 山武市 ☆ 横芝光町 ☆ ※ 東庄町 新規	
	合計	23	16	
贈答品	第1次 (30%以上)	計 11 旧・成田市 ○(成田市) 酒々井町 富里町 印旛村 ※ 本埜村 第2次へ 栄町 芝山町 旧・下総町 ○(成田市) 神崎町 旧・大栄町 ○(成田市) 多古町	計 8 成田市 ☆ 富里市 酒々井町 印旛村 栄町 芝山町 神崎町 多古町	
	第2次 (10~30%未満)	計 6 八街市 ※ 印西市 圏外へ 旧・山武町 ○(山武市) 旧・光町 ○(横芝光町) 旧・佐原市 ○(香取市) 旧・栗源町 ○(香取市)	計 6 八街市 ※ 本埜村 第1次から 山武市 ☆ 横芝光町 ☆ 匝瑳市 ☆ 香取市 ☆	
	第3次 (5~10%未満)	計 7 佐倉市 旧・松尾町 ○(山武市) 旧・横芝町 ○(横芝光町) 旧・蓮沼村 ○(山武市) 旧・八日市場市 ○(匝瑳市) 旧・旭市 ○(旭市) 旧・小見川町 ○(香取市)	計 4 佐倉市 ※ 銚子市 新規 旭市 ☆ ※ 東庄町 新規	
	合計	24	18	

※印は変化(商圏内の階級移動、圏外流出、新規商圏)のあった市町村

○印は市町村合併後も新市が同一階級もしくは上位階級の商圏内

△印は市町村合併後も新市が商圏内も商圏階級が低下

×印は市町村合併後は新市が商圏外 ☆印は市町村合併市

3 柏商圈（商業中心都市）

(1) 商圈の概要

表Ⅳ－3－1 柏商圈

商圈 (基準吸引率)	旧・市町村区界				現・市町村区界					
	市町村		商圈人口 (人)	吸引人口 (人)	市町村		商圈人口 (人)	吸引人口 (人)		
		市町村 吸引率				市町村 吸引率				
第1次 (30%以上)	計	3	70.5%	535,413	377,413	計	2	71.1%	539,039	383,150
	旧・柏市		90.6%	333,003	301,701	柏市		87.0%	384,420	334,445
	旧・沼南町		59.1%	47,791	28,244	流山市		31.5%	154,619	48,705
	流山市		30.7%	154,619	47,468					
第2次 (10～30%未満)	計	2	17.2%	255,599	43,895	計	2	16.7%	283,765	47,511
	旧・野田市		11.4%	123,845	14,118	野田市		10.8%	152,011	16,417
	我孫子市		22.6%	131,754	29,776	我孫子市		23.6%	131,754	31,094
第3次 (5～10%未満)	計	3	5.9%	565,747	33,098	計	2	6.2%	535,040	32,926
	印西市		5.0%	60,106	3,005	印西市		5.0%	60,106	3,005
	松戸市		6.0%	474,934	28,496	松戸市		6.3%	474,934	29,921
	旧・関宿町		5.2%	30,707	1,597					
合計	8	33.5%	1,356,759	454,406		6	34.1%	1,357,844	463,588	

注1) 吸引率=吸引人口÷商圈人口×100

注2) 各商圈内の最上段吸引率は圈内加重平均(圈内吸引人口計÷圈内商圈人口計×100)

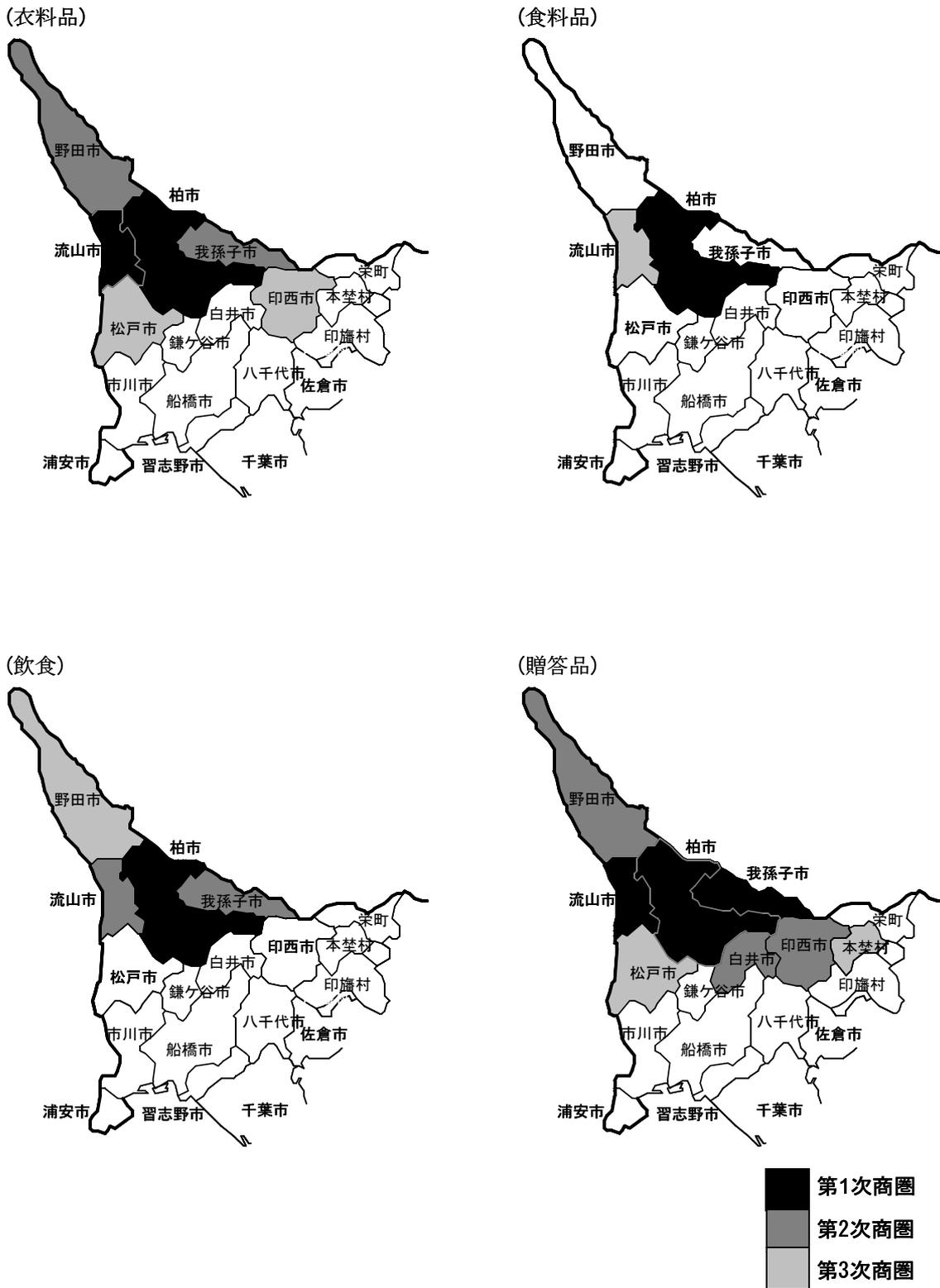
注3) 市町村・商圈人口は平成18年10月1日現在(千葉県毎月常住人口調査より)

但し、旧市町村人口は平成18年10月末日現在(各市町村住民基本台帳字別人口表より)

○柏商圈は東葛ブロックと印旛ブロックの西部を中心に 6 市から形成され、商圈人口は約 136 万人(柏市人口の約 3.5 倍)、商圈からの吸引人口は約 46 万人(同約 121%)、商圈内吸引率は 34.1%となっている。

○第 1 次商圈は 2 市で吸引率の平均は 71.1%、第 2 次商圈は 2 市で吸引率の平均は 16.7%、第 3 次商圈は 2 市で吸引率の平均は 6.2%となっている。

図IV-3-1 柏商圏（衣料品・食料品・飲食・贈答品）



(2)旧市町村区界（旧・柏市）での前回調査との比較

○商圏内市町村数

- ・第1次商圏は前回と同様に2市1町となっている。
- ・第2次商圏は1市であったが、1市が第3次商圏から入ったため、1増して2市となった。
- ・第3次商圏は4市であったが、1市が圏外に出て、1市が第2次商圏に移動したものの新たに1町が入ったので、1減して2市1町となった。
- ・商圏全体では、7市1町であったものが、数は変わらないが6市2町となった。

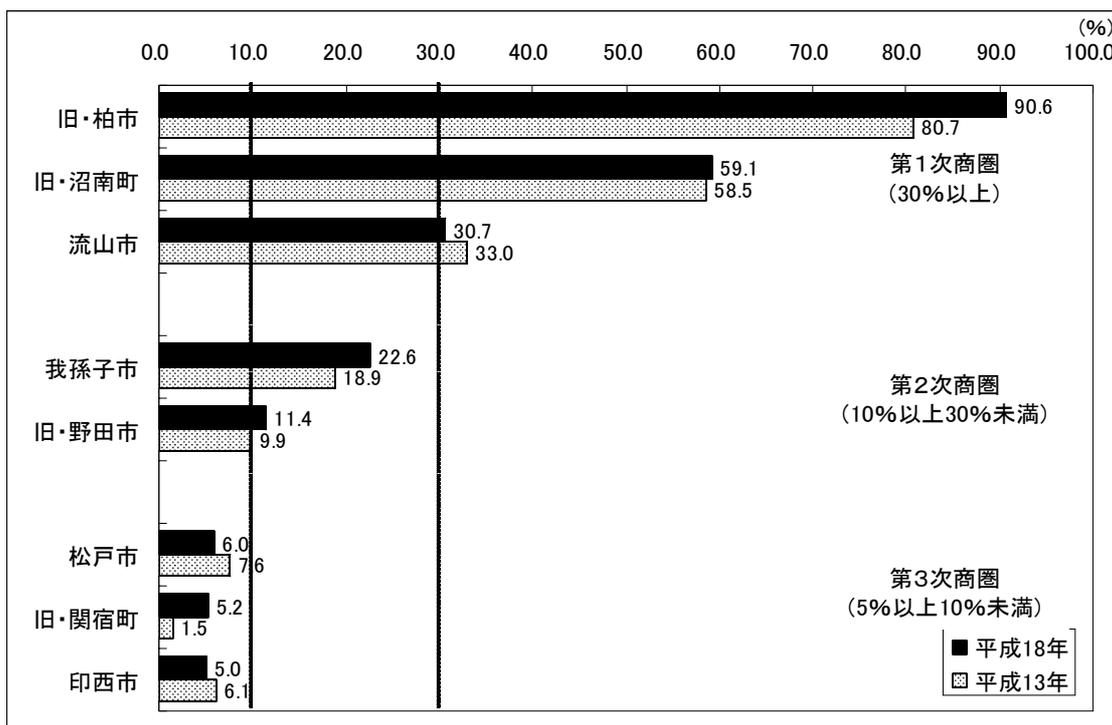
○商圏人口：前回調査時（1,353,746人）から増加して1,356,759人となった。（前回比+0.2%）

○商圏内吸引率：前回調査時（31.1%）から上昇して33.5%となった。（前回比+2ポイント）

○吸引人口：商圏人口・吸引率がともに増加したことから、前回調査時（421,241人）から増加して454,406人となった。（前回比+7.9%）

○吸引力：吸引人口が増加したことから、前回調査時（128.1%）から上昇して136.5%となった。（前回比+8ポイント）

図IV-3-2 旧・柏市の吸引状況の変化（旧市町村区界）



(3) 市町村合併による市町村区界変化に伴う変化

○商圏内市町村数

- ・第1次商圏は、旧市町村区界では2市1町であるが、1市（柏市）1町が合併により1市となったため、1減して2市となった。
- ・第2次商圏は、旧市町村区界では2市であり、そのうちの1市が第3次商圏の1町と合併したが第2次商圏にとどまっていることから変化はない。
- ・第3次商圏は、旧市町村区界では2市1町であるが、1町が第2次商圏の1市と合併して第2次商圏に移動したため、1減して2市となった。
- ・商圏全体では、旧市町村区界では8市町（6市2町）であるが、新市町村区界では2減して6市となった。前回調査時の8市町（7市1町）との比較でも2減となった。

↓

（現市町村区界での商圏の前回調査との比較）

○商圏人口：現市町村区界での商圏人口は前回調査時（1,353,746人）から増加して1,357,844人となった。（前回は+0.3%）

○商圏内吸引率：前回（31.1%）から上昇して34.1%となった。（前回は+3ポイント）

○吸引人口：商圏人口・吸引率がともに増加したことから、前回（421,241人）から増えて463,588人となった。（前回は+10.1%）

○吸引力：吸引人口は増えたが自市人口が合併により増加（+16.9%）したため、前回（128.1%）から低下して120.6%となった。（前回は▲7ポイント）

(4) 衣料品購入における商圏内市町村の具体的な変化

○衣料品購入における柏商圏内の市町村の具体的な変化を表IV-1-2に示す。

表IV-3-2 柏商圏の市町村の変化（衣料品）

衣料品 商圏 (基準吸引率)	平成13年(旧・柏市)		平成18年(旧・市町村区界)			平成18年(現・市町村区界)	
	市町村		市町村		市町村	市町村	
		平成18年 での変化		平成13年 からの 変化	市区界変化 による商圏 からの移動		平成13年 からの 変化
第1次 (30%以上)	計	3	計	3		計	2
	旧・柏市		旧・柏市			柏市	☆
	流山市		旧・沼南町		○(柏市)	流山市	
	旧・沼南町		流山市				
第2次 (10~30%未満)	計	1	計	2		計	2
	我孫子市		※旧・野田市	第3次から	○(野田市)	※野田市	☆
			我孫子市			我孫子市	
第3次 (5~10%未満)	計	4	計	3		計	2
	印西市		印西市			印西市	
	※白井市	圏外へ	松戸市			松戸市	
	松戸市		※旧・関宿町	新規	○(野田市)		
	※旧・野田市	第2次へ					
合計		8		8			6

※印は変化(商圏内の階級移動、圏外流出、新規商圏)のあった市町村

○印は市町村合併後も新市が同一階級もしくは上位階級の商圏内 △印は市町村合併後も新市が商圏内も商圏階級が低下

×印は市町村合併後は新市が商圏外 ☆印は市町村合併市

(5) その他の品目（食料品・飲食・贈答品）における商圏内市町村の具体的な変化

○その他の品目の購入における柏商圏内の市町村の具体的な変化を表Ⅳ－１－３に示す。

表Ⅳ－３－３ 柏商圏の市町村の変化（食料品・飲食・贈答品）

商圏 (基準吸引率)	平成13年(旧・柏市) 市町村		平成18年(現・市町村区界) 市町村	
	平成18年 での変化		平成13年 からの変化	
食料品	第1次 (30%以上)	計 1 旧・柏市 ○(柏市)	計 1 柏市 ☆	
	第2次 (10～30%未満)	計 1 ※ 旧・沼南町 ○(柏市)	計 0	
	第3次 (5～10%未満)	計 1 流山市	計 1 流山市	
	合計	3	2	
飲食	第1次 (30%以上)	計 2 旧・柏市 ○(柏市) 旧・沼南町 ○(柏市)	計 1 柏市 ☆	
	第2次 (10～30%未満)	計 2 流山市 我孫子市	計 2 流山市 我孫子市	
	第3次 (5～10%未満)	計 1 旧・野田市 ○(野田市)	計 1 野田市 ☆	
	合計	5	4	
贈答品	第1次 (30%以上)	計 5 ※ 旧・野田市 △(野田市) 旧・柏市 ○(柏市) 流山市 我孫子市 旧・沼南町 ○(柏市)	計 3 柏市 ☆ 流山市 我孫子市	
	第2次 (10～30%未満)	計 3 印西市 白井市 ※ 松戸市 第3次へ	計 3 印西市 白井市 ※ 野田市 ☆	
	第3次 (5～10%未満)	計 2 本埜村 ※ 栄町 圏外へ	計 2 本埜村 ※ 松戸市 第2次から	
	合計	10	8	

※印は変化(商圏内の階級移動、圏外流出、新規商圏)のあった市町村

○印は市町村合併後も新市が同一階級もしくは上位階級の商圏内

△印は市町村合併後も新市が商圏内も商圏階級が低下

×印は市町村合併後は新市が商圏外 ☆印は市町村合併市